令和５年度　年間学習指導計画案

科目	看護臨地実習	単位数	８単位 （２、３学期）	学年・学科・コース	２年・衛生看護科
使用教科書	なし			副教材等	なし

１．学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	看護の見方・考え方を働かせ、臨地において実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、看護の実践に必要な資質・能力を育成することを目指す。 ・臨地における看護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。 ・臨地における看護に関する多様な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて解決策を探求し、合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ・臨地における看護について、よりよい看護の実践を目指して学び、人々の安全と安楽を守り、健康の保持増進と生活の質の向上に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の観点		
ａ．知識・技能	**ｂ．思考・判断・表現**	**ｃ．主体的に学習に取り組む態度**
臨地における実践的・体験的な学習活動を通して、臨地の施設や社会資源を理解し、看護に属する科目で習得した知識と技術の統合を図るとともに、看護を実践する際のリスクマネジメントを踏まえた知識と技術を身につけている。	臨地における看護の対象がもつ様々な健康課題について、対象の理解を基盤とした上で必要な援助を探求し、倫理原則、科学的根拠、優先順位、社会資源の活用、対象の多様な価値観の尊重と意思決定の支援などを踏まえて解決する力を身に付けている。	多様な健康課題の解決に当たり、臨地における実践的・体験的な学習活動を通して看護の職業倫理などに基づく望ましい看護観を醸成し、看護職の果たすべき役割を踏まえ、他職種と連携・協働し主体的に看護実践に取り組む態度を見に付けている。

２．学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			ａ	ｂ	ｃ		
１０ １１ １２	基礎看護臨地実習	・保健医療福祉施設の機能と看護の役割 ・対象の理解 ・看護におけるコミュニケーション	○			・臨地における看護実践の基礎について理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。	参加態度 実習日誌 提出物 自己評価 技術到達度 指導者評価
				○		・臨地における看護実践の基礎に関する課題を発見し、倫理観を踏まえて合理的かつ創造的に解決策を見出すことができる。	
					○	・臨地における看護実践の基礎について自ら学び、よりよい看護を目指して主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
１ ２ ３	領域別看護臨地実習 ・成人看護倫理実習 ・老年看護倫理実習 ・小児看護倫理実習 ・母性看護倫理実習 ・精神看護倫理実習	・保健医療福祉施設の機能と看護の役割 ・対象の理解 ・看護におけるコミュニケーション ・看護の展開	○			・各領域における看護実践と理論を結び付けて理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。	参加態度 実習日誌 提出物 自己評価 技術到達度 指導者評価
				○		・各領域における看護実践について多様な課題を発見し、倫理観を踏まえて合理的かつ創造的に解決策を見出すことができる。	
					○	・各領域における看護実践について自ら学び、人々の健康を保持増進するために主体的かつ協働的に取り組んでいる。	